

平成29年度事業報告

【事業概要】

平成29年度末の実会員数は、昨年度より20名増加となりました。請負・委任と派遣を合わせた実績はお陰様で昨年度を上回りました。これは辞めない会員の体制づくり、コーディネータ等による提案型の営業などが功を奏したものであり、今後人材不足の分野にさらなるアクションを起こす足がかりとなりそうです。

今年度も全国から多くの視察や出張講演の依頼があり、当センターの取り組みへの関心の高さが伺えます。また、以前視察や講演依頼をうけたいくつかのセンターから新しいお店のオープンや新規事業に漕ぎ着けたというお礼状も届いており、少なからず貢献出来たことに喜びを感じています。

介護保険事業関連は制度の変更や利用者の高齢化、施設への移行に加え新旧の体制入れ替え等の影響もあって数字を落としています。そんな中、新総合事支援業のサービスAは実績を伸ばしております。

シルバーふれあいサロンやまゆりは、過去最高136名のボランティアに支えられ、多くの視察者を迎える全国でも有名な直売所になっています。

体験型農場「みんなの農場」は、赤字に苦しみながらも地域の耕作放棄地の有効活用、地消地産、食育推進、農業後継者の育成、野菜作りのスキルアップに貢献し、年齢に関係なく活躍出来るフィールドづくりに貢献しました。指定管理を請けているワークプラザ柏崎は、改修工事の影響を心配しましたが、利用者数、利用回数、利用料金は若干の減少にとどまり、稼働率の平均は50.7%でした。

1、登録会員（年度末） 1, 223人 （男697人 女526人）

2、事業実績

(1) 請負・委任 受注件数（新規）	9, 173件（5, 583）	昨年度比
(2) 請負・委任 就業延人員	85, 873人日	1.6%増
(3) 請負・委任 配分金合計額	296, 638, 216円	1.3%増
(4) 請負・委任 受託金額	378, 311, 580円	1.1%増
内 訳		構 成 比
公 共	86, 485, 288円	22.9%
民間企業	160, 271, 759円	42.4%
一般家庭	86, 626, 291円	22.9%
独自事業	10, 453, 365円	2.8%
介護保険	34, 474, 877円	9.1%
(5) ケアプラン作成	1, 491件 受託金額 20, 465, 860円	

(6) 一般労働者派遣事業

受注実件数	581件 (うち新規81件)	昨年度比
契約金額	110,559,399円	0.1%減

(7) 請負・委任 職群別構成比

管理的職業	0.0%	専門的技術的職業	0.0%
事務的職業	2.1%	販売の職業	3.0%
サービスの職業	34.0%	保安の職業	0.0%
農林漁業の職業	12.5%	生産工程の職業	2.3%
輸送機械運転の職業	0.0%	建設採掘の職業	0.6%
運搬清掃包装等の職業	45.6%		

- (8) 請負・委任・派遣 年間就業率 **81.2%** 昨年度 81.3%
(請負・委任のみ 年間就業率 71.5% 昨年度 73.1%)

【部会報告】

広報部会

- 1、広報「シルバーだより柏崎」を2回発行しました。
第114号 平成29年9月15日発行 (8頁)
第115号 平成30年4月15日発行 (12頁)
- 2、経費削減のため、年に2回の発行で掲載する内容に制約を受けています。
そうした中でも、会員の皆様がシルバー人材センターを通じてより豊かな生活が出来る事を願って、様々な場で活躍する会員の紹介や、就業相談・学びの場・イベント情報の提供など、より内容が濃くまた見やすくする工夫と努力を行いました。
- 3、記事集め、取材、写真撮影などは部員と事務局が連携を密にして効率よく収集することに務めました。
編集もパソコン化し、部員同士がメールで確認し合うなど、集まったの編集会議を減らすことに努めました。

事業部会

リサイクル事業を中心に活動しました。イベント等にも参加し、それぞれの事業のPRを行いました。

- 1、シルバーふれあいサロン「やまゆり」
29年度も多くの市民や市外の方にも利用されました。また、県内外から視察者があり全国でも有名な直売所となりました。ボランティアの人数も140名余りと過去最高となりました。当番表を定期的に作成し、ボランティアの負担が大きくなるよう、休まれる方の調整等に協力し、会員作品などの受け入れや返品の手分け、棚卸しを行いました。やまゆり委員会を2ヶ月に1回のペースで開催し、運営の問題点や、売り上げを伸ばす方策等を事務局と話し合いました。委員会による提案により、初売

りの際、来場者に甘酒を振る舞うなど工夫し、また、野菜の持ち込みが少ない2月には新たに、せともの市を行いました。

2、刃物研ぎ

29年度も昨年同様新規の会場を開拓しました。1件会場が増え、売上は作年度と同程度となりました。活動では、刃物研ぎを行うに際し、各会場付近の町内会へ案内チラシを各戸配布していただけるようお願いをしました。チラシにはシルバー人材センターのPRを掲載し、シルバー人材センターの事業運営に協力しました。また、作業者とお客様の間に立って、スムーズに事業が行われるよう協力し、常に事業の効率化を心掛けました。さらに、刃物研ぎ班の会議にも出席し、事業のあり方について意見を交わしました。

3、リサイクル自転車

市から払い下げを受けられる自転車の台数が少なくなり、29年度のワークブラザ柏崎の感謝祭にて15台販売しました。活動では払い下げを受けたり、ご寄付いただいた自転車を再生し、販売に際しては、会場の陳列、受付、お客様への対応などに協力しました。

4、チャイルドシート貸し付け

チャイルドシートのクリーニング委託や破損がないかの確認、破損・不具合のあるものを市へ廃棄依頼するなど管理をし、市民へ貸し付けを行いました。平成29年4月1日から貸出期間・料金の改定を行ったこともあり、売り上げは昨年度より7万円程度下がりましたが、目標額50万円は上回りました。また、市民からチャイルドシートの寄付を募ったり、市内の主な保育園卒園保護者向けにPRチラシを配布し、在庫の増加に努力しました。

女性部会

1、女性会員拡大の一環として、研修部会と合同で下記のことを実施しました。

- (1) シニア作品・じまん展（老人クラブと共催）でのシルバー人材センター展示コーナーの飾り付け。来場者へ、リーフレットとティッシュを配布。
- (2) 各イベント会場でリーフレットとポケットティッシュを配布。

2、就業の質の向上・拡大のため、「家にあるもので簡単にできる高齢者向け料理講習会」を開催しました。

3、会員同士のつながりを深めるため、「ルーシーダットン」タイ式ヨガ教室と茶話会を実施し、女性会員の声をお聞きしました。

4、ふれあいサロン「やまゆり」に協力するため、月2回手芸教室を開催し、手芸や季節の飾り物など販売できる商品の作製をしました。

5、独自事業として手工芸品の製作販売、シルバーショップの運営を行っている館林市シルバー人材センターへ交流及び今後の女性部運営の参考のための視察に行きました。

研修部会

1、会員研修会

柏崎市企画政策課より「柏崎市第五次総合計画について」と題して、講演していただきました。

2、事業普及啓発促進活動

(1) クリーン作戦

シルバーの日を中心に会員役職員が一体となり、公共施設、歩道等の清掃ボランティア活動を実施しました。

(2) 会員増強、就業拡大のためのPR活動

- ・シニア作品展・じまん展（老人クラブと共催）に参加し、シルバー人材センター紹介コーナーでは、パネル展示・女性部による手芸作品の展示をし、パンフレット・ポケットティッシュ等を配布しました。
- ・比角フェスティバル、えんま祭り、ぱくもぐフェアなど各イベント会場にて、ポケットティッシュ等を配布しました。
- ・シルバー人材センター紹介の大型ポスター（全国シルバー人材センター協会作成）を公共施設に展示してもらいました。

安全部会

平成29年度は「マナーとルールを守って安全就業」をテーマに、意識がマンネリ化しないよう、職群班ごとに班長の他に安全担当会員を選出し、安全意識の再確認と、危険予知活動の周知を中心に取り組んで来ました。

しかしながら、傷害事故1件、賠償事故5件が発生しました。特に機械除草における石の飛散による車輛損傷事故がきわめて多く、過去にない賠償額になってしまいました。緊急事態宣言を発令し、機械除草班には特別安全講習会を実施し厳しく指導しました。

このことから、現場をとりまとめる班長の資質向上は必須と考え、職群班全体安全研修会では班長研修を実施しました。

主な活動内容は次の通りです。

- 1、安全目標の掲示、周知
- 2、安全掲示板の設置
- 3、職群班ごとに安全担当会員を選出
- 4、作業前朝礼時、声かけシートによる安全唱和の実施
- 5、安全チェックシートを活用し作業前点検実施
- 6、安全パトロールの強化（6月から11月まで全7回）
- 7、無事故100日キャンペーンの実施（6月1日～9月10日）
- 8、安全就業通信及び季節ごとの注意喚起文書の配布
- 9、安全就業シール配布

- 10、救急箱の配布
- 11、「作業中」と表示した看板を屋外作業班を中心に配布
- 12、ヒヤリハット事案を募集
- 13、連合会主催の安全講習会へ参加
- 14、職群班合同安全研修会の開催 班長研修60名出席
- 15、「安全就業必携ハンドブック」の常時携帯と活用の徹底
- 16、機械除草班特別安全講習会実施
- 17、刈払機取扱作業者に関する安全衛生教育の未受講者に取扱安全講習会を実施
- 18、家族への就業先明確化の徹底

このように多くの安全活動を実施し、安全への意識高揚に努めました。

総務部会

- 1、昨年の会員研修旅行（1泊）は参加希望者が少なく中止となったため、29年度の会員研修旅行（日帰り）は参加しやすい料金と内容で企画し、PRもいたしましたが、昨年と同様に参加希望者が少なく、残念ながら中止となりました。今後、会員研修旅行のあり方、必要性について検討する必要があると思われます。
- 2、会員忘年会を企画・PRし、柏崎市産業文化会館3階大ホールにて12月16日（土）開催しました。柏崎市長をはじめとする来賓の方々にもご出席いただき、総勢130名での、和やかで楽しい会となりました。